
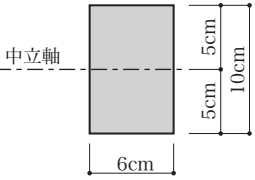


『図説 やさしい建築数学』改訂版第3刷 正誤表

本書において下記の誤りがございました。

深くお詫びいたしますとともに、ここに訂正させていただきます。

2017年2月(株)学芸出版社

頁	該当箇所	 薄青点線の枠内が正
142	問題2 解答	 <p>中立軸</p> <p>5cm 5cm 10cm 6cm</p> <p>解説 p.169～p.170</p> <p>解答</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 30 kN・m</li> <li>2. 54 kN・m</li> <li>3. 500 cm<sup>4</sup></li> </ul> <p><del>108 kN・m</del></p> <p>解答には単位を忘れずに!</p>
170	解答と解説 p.142 問題2	<p>問題2</p> <p>(問題: p.142)</p> <p>参考ページ p.126～p.129</p> <p>① 等分布荷重を集中荷重に変換する。(p.129 下参照)</p> $3\text{kN/m} \times 12\text{m} = 36\text{kN}$ <p>② 反力を求める式は? (力の合計 = 0)</p> $36 - (V_A + V_B) = 0$ <p>③ A点のモーメントを計算すると、反力 <math>V_B</math> が求められる! (モーメントの合計 = 0)</p> $-V_B \times 12 + 36 \times 6 = 0$ $12V_B = 216$ $V_B = 18\text{kN}$ <p>④ C点の曲げモーメントは?</p> <p>部材の変形方向を考えると、曲げモーメントの符号は+になる。(p.128 参照)</p> $M_C = +V_B \times 6 - 18 \times 3 = +18 \times 6 - 54 = +54$ <p>したがって、曲げモーメントの値は、54 kN・m</p> <p>※C点の曲げモーメントは、B-C間のみを取り出して考える。(A-C間で考えても同じ)</p> <p>問題3</p> <p>(問題: p.142)</p> <p>参考ページ p.136～p.137</p> <p>500cm<sup>4</sup></p> <p>中立軸と図心軸が一致しているので、断面二次モーメントの公式 (p.137 ③(1)) より、</p> <p>断面二次モーメント <math>I = \frac{bh^3}{12} = \frac{6 \times 10^3}{12} = 500\text{cm}^4</math></p> <p>断面二次モーメントの単位は4乗になる! (p.136 参照)</p> 